

産学連携の取組状況

産学連携・研究支援室

長崎国際大学は、地域の観光・福祉・医療の水準の向上を大学の使命の一つとして位置づけ、観光・福祉・医療分野の教育研究の成果を広く社会に還元するため、産学官連携による社会貢献に積極的にかかわっていきます。この目的を実現するために次の方策を掲げ、実践します。

1 地域社会への貢献

地域社会における地(知)の拠点として、地域産業界、地方自治体等との連携を強化し、地域の活性化に貢献する。

2 共同研究・受託研究等の推進

企業や自治体等のニーズに基づいた共同研究・受託研究等に積極的に取り組み、産学官の連携による研究活動を活性化する。

3 知的財産の創出

長崎国際大学知的財産ポリシーに基づき、本学または企業や自治体等との共同研究・受託研究等により創出した知的財産を社会に還元する。知的財産の取り扱いについては、その権利化を図るとともに産業界への技術移転・事業化を進める。

4 人材の育成

産学官連携に関わる授業及び研修会の実施、企業等とのインターンシップの実施など、教育面での連携にも積極的に取り組み、社会の発展に貢献できる人材の育成に努める。

5 産学官連携の管理運営体制の構築

地域社会の地(知)の拠点としての活動を図るため、産学官連携に対する管理体制の構築とその運営を行う。

6 リスクマネジメント

産学官連携に係る利益相反等を未然に防止し、かつ発生した相反行為等を解決するため、長崎国際大学利益相反に関する規程等により円滑な調整を行う。

～ 令和6年度の共同研究、委託研究 ～

共同研究

本学研究者所属・職名・氏名：薬学部・教授・宇都 拓洋

相手先機関名、研究代表者名：一丸ファルコス株式会社 開発部部长 伊藤 賢一

研究テーマ：マグノリア属植物等、天然物に含有される有用成分の探索

研究内容：マグノリア属植物等の天然物に含有される有用成分の探索（例えば、アンチエイジング、タンニング剤など素材の評価、メカニズム、有効成分の同定）を共同で行う。

委託研究

本学研究者所属・職名・氏名：薬学部・講師・榎本 彩乃

相手先機関名：国立研究開発法人科学技術振興機構

研究テーマ：臨床用 OMRI の技術基盤の構築と実証研究

研究内容：様々な疾病にはフリーラジカルが関係しています。基礎研究では多くのエビデンスが示される一方で、フリーラジカル計測器は臨床機器として確立していません。本研究では大幅な低電力化のアイデアにより、初のフリーラジカル計測・診断医療機器プロトタイプを実現します。その結果、人体中でのフリーラジカルと疾病の関係を直接明らかにすることが可能となり、創薬研究など医療分野において多大な発展をもたらすことが予想されます。

共同研究

本学研究者所属・職名・氏名：薬学部・教授・隈 博幸

相手先機関名、研究代表者名：株式会社シノテスト 許 文喆

研究テーマ：術前・術後のプロテイン S 比活性測定による静脈血栓塞栓症発症のリスク解析

研究内容：整形外科的手術（特に人工関節置換術）を受ける患者のプロテイン S 比活性を網羅的に解析し、手術による静脈血栓塞栓症発症のリスクを明らかにする。

共同研究

本学研究者所属・職名・氏名：薬学部・教授・宇都 拓洋

相手先機関名、研究代表者名：有限会社坂本薬草園 代表取締役 山原 條二

研究テーマ：青蘘（胡麻場）を中心とした天然物の機能解析研究

研究内容：青蘘の機能分析・活性本体の単離同定、胡麻の栽培における種々の検討

共同研究

本学研究者所属・職名・氏名：薬学部・准教授・藤本京子

相手先機関名、研究担当者名：株式会社バイオジェノミクス社 瀧上太郎、赤木孝太郎、久原大雅

研究テーマ：乳酸菌生産物質の生理活性に関する研究

研究内容：乳酸菌生産物質の生理活性を明らかにする。

共同研究

本学研究者所属・職名・氏名：薬学部・教授・小林秀光

相手先機関名、研究代表者名：株式会社モノリス 漆坂繁則

研究テーマ：日本産冬虫夏草の性質と機能性に関する研究

研究内容：国内各地から収集した野生の冬虫夏草類（真菌類：きのこ）の生態や性状に関して、

菌種ごとに純粋培養条件を確立させると共に、抗がん、降圧、血糖値抑制など多様な作用を指標とするスクリーニングを行い、新規生理活性成分を探索する

以上